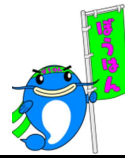


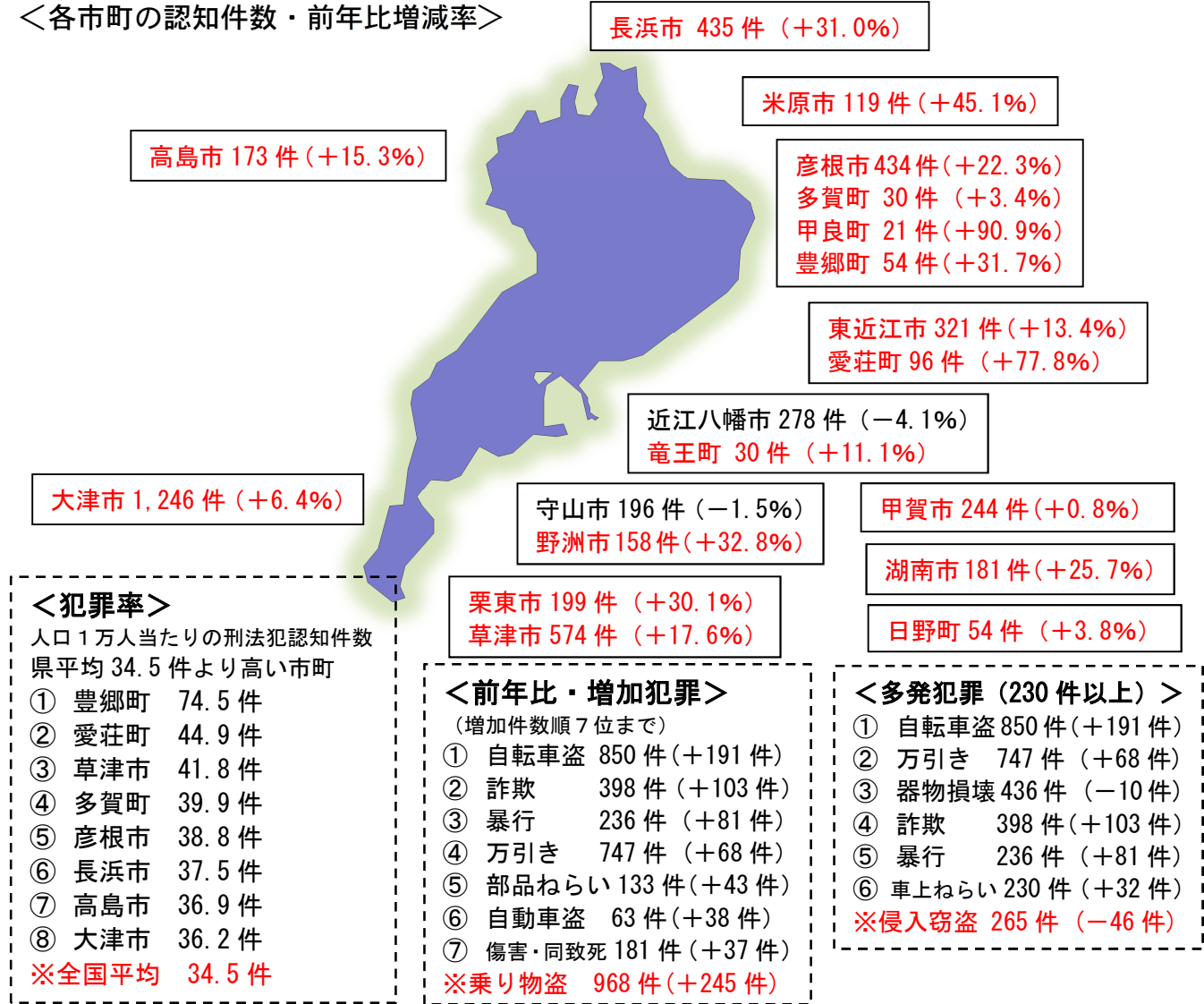
# 令和4年9月末の犯罪発生状況



令和4年10月13日  
(公社) 滋賀県防犯協会

## 県内の刑法犯認知総数 4,879件 (前年比+630件 +14.8%)

＜各市町の認知件数・前年比増減率＞



### ＜特殊詐欺の発生＞

- ・9月までの本年発生は80件(前年比+5件)、被害総額は約1億7,900万円(前年比+約7,200万円)。
- ・高齢者(65歳以上)の被害は59件(約73.8%)、約1億4,400万円(約80.4%)となっています。
- ・9月中の発生は11件で、メール、サイト閲覧等による「有料サイト登録」名目、ワンクリック詐欺、名義貸しトラブルの架空料金請求詐欺5件、息子・医師などを名乗る劇場型のオレオレ詐欺3件

### 架空料金請求詐欺

- パターンⅠ＜メール＞ご利用料金の支払い確認が取れておりません。本日中に●●まで至急ご連絡ください。
- ＜電話＞ ●●というサイトに登録されている。放置するとクレジットカードも止められる。今日中であれば95%が返金される。
- パターンⅡ＜電話＞犯人① ●●さんには老人ホーム入所に関する優先入所の権利がある。譲ってほしい。  
犯人② 名義貸しは犯罪です。契約を取り消すためにお金が必要。  
犯人③ 裁判となってしまった。口座凍結される前にお金を預かる。

### 医師・息子劇場型のオレオレ詐欺

- ①医師「息子さんが病院に運ばれてきた。のどの治療が必要。」※息子の声で詐欺とバレないようにするため
  - ②息子「携帯電話、財布をなくした」※携帯電話に確認の電話をさせないため
  - ③息子「会社のキャッシュカードを無くした財布に入れていたので、支払いが滞っている。上司や取引先の人に一部補填してもらっている。」※他人に迷惑をかけていることで工面しなければと思わせるため
- このほかに「息子の上司」「病院の警備員」が登場するケースもあり、多数の者がだまします。

※電話やメールのお金の要求は『詐欺』!!急ぐときこそ一人で判断せず、警察や身近な人に相談してください。